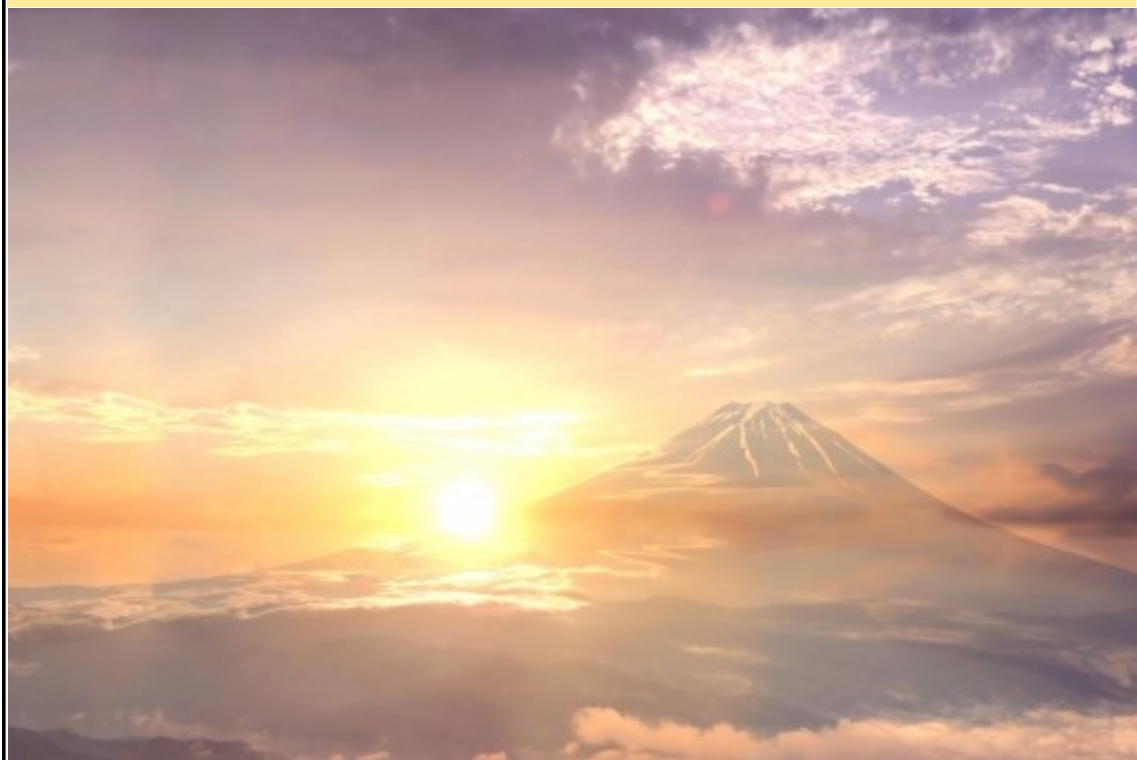


2020年 新年明けまして おめでとうございます



「結い」だより

第56号
発行
社会福祉法人 結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1 203
TEL 086-270-5552
FAX 086-270-5554
発行責任者
前田 勝子

新年明けましておめでとうございます。昨年は、社会福祉法人「結い」の活動に対し皆さまの温かいご支援・ご協力をいただきありがとうございます。英語圏ではLGBT（性的マイノリティ）／SOGI（性的指向、性自認）など多様な性のあり方を認めあうため「he（彼）」「she（彼女）」の代わりに男女を区別しない性別に中立な代名詞「they」を単数形で使う動きが広がっています。日本語では「俺」「うち」など性別に基づいた一人称が数多く存在します。最近、若い女性は自分のことを「わし」と表現するそうです。「わし」は、主に中国地方のおじさんが使う一人称と認識していたので若い女性の「おじさん化」に驚きました。性別に中立な日本

社会福祉法人 結い
理事長 前田 勝子



語の一人称として「わし」もい

数年後には私は定年退職を迎えます。就職した頃、患者さんからお茶に誘われ照れてた私も数年前から「第二のお母さん」と言われるようになり自分の老いを感じていました。ところが、昨年末、30代の患者さんから「先生に会うと死んだ親父に会ったような気持ちになる」と言われ「おじさん化」した自分に愕然としました。そこで、今年の新年の抱負に「女らしく」を掲げようと思いましたが、昨年末に世界経済フォーラムが発表した世界男女格差指数における日本の順位（153カ国中121位）の結果を受け「おじさん化」したありのままの自分で生きていこうに変更しました。日本には「男性は男性らしく」「女性は女性らしく、男性を立てなさい」と生まれた時から刷り込まれている根強いジェンダー（社会的・文化的に作られた性）差別があります。「おじさん化」した女性も弱々しい男性も誰でもその人らしく生きていくことができる自由で平等な社会であって欲しいと心から願います。

藤井克徳さんを 囲む会に参加して



昨年12月7日岡山きらめきプラザでNPO法人日本障害者協議会（JD）代表、きょうされん専務理事の藤井克徳さんを囲む会が開かれました。まず、藤井さんから今年（2019年）が精神病院法100年、ナチスドイツのT4作戦80年、身体障害者福祉法70年、また日本初の共同作業所「ゆたか共同作業所」設立50年、そして養護学校義務制40年という節目の年だと紹介がありました。

社会保障や障害者の問題は、社会・経済の在り方によって大きく左右されます。憲法改悪が人権保障を根底から覆す問題。九条の問題を障害者の立場から話すことができるようになることが大切。1945年の都立松沢病院の記録によれば、当時の入院患者約2000名のうち、およそ500名が死亡、そのうち約300名は「餓死」だったそうです。これは軍部による「くくつぶし（障害者）には、食糧は不要」という方針の結果だった。ドイツのビスマルクの発言「大砲かバタールか？」とはすなわち「戦争か平和か？」。「軍事費の拡大か、社会保障・福祉の拡充か？」ということ。現在の「九条改定」は「既成事実をつくる」意味を持つており、97条も消されようとしている。現政権は「わがことまるごと」「全世代型改革」の名のもとに、負担増・給付減をねらっている。今起こっている問題として、精神病床が世界中の2割、日本中の全病床の2割を占めており、日本社会に内在する精神障害者への差別が現状を許している、ということ。今一度、2010年1月7日に厚労省と取り決めされた「基本合意」の意義（応益負担の間違い）、浅田訴訟の意義（65歳問題はおかしい）の確認が必要ではないか、と訴えられました。



ワークハウス・わくわく！
利用者・杉本泰郎

最後に、運動に携わる人々へのエールとして、「まとまること大切！」かつての共同作業所づくり運動の力を生かすこと。「みんなのねがい」「Tom」による情報共有と、全障研の要求運動とながること、などが大切なカギだ。きょうされんの40年の運動で得たこととして、「困ったときは集まること（エネルギーを生む）」「つながること（自分と遠い人と、違いを超えて共同する）」「学ぶこと（過去を学ぶ・障害当事者のニーズを学ぶ）」「運動は裏切らない」と、伝えられました。深く濃い内容で課題を示されたと同時に勇気をいただいた二時間でした。

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の方だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき私達の活動を支援してくださいませようよろしくお願い致します。また、2019年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願い申し上げます。

<お振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会
(個人：年1口 千円 団体：年1口 3千円)



社会福祉法人 結い

「ワークハウス・わくわく！」

統括管理責任者
相談支援事業所「ハウスけやき」

所長 高橋 陽子

新年あけましておめでとうございませう。

「ワークハウス・わくわく！」では、常勤職員の退職、大学院進学のためのテレワーク勤務、「にのつぼ」では常勤調理師退職後収益不足により補充ができないところへ常勤職員の育休が発生しました。残った職員で現場を回しているため職員からは常に忙しいオーラがでてしまい、利用者の方々には相談したいときに職員がいない、いつも忙しそうで声をかけられない、といったご迷惑をおかけしてきたと思えます。

ただその中で利用者の方々へ成長がみられ職員をたすけてくれるようになってきたと思えます。人生には色々な節目が現れます。大変な年ではありましたが、これも一つの機会です。新たな糧にし今年も頑張りたいと思います。



ワークハウス・わくわく！

所長 早瀬 文香

新年明けましておめでとうございませう。

昨年中はワークハウス・わくわく！へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

2019年は、なかまの力とその頼もしさを感じた年となりました。2018年末より職員の退職や育休などの条件が重なり、配置基準は満たしてはいるもののこれまでよりも職員が少ない中で運営を行ってきました。そのような状況の中、毎日の仕事を進めるのにメンバーが頑張りを、大きく成長してくれました。先輩メンバーが後輩メンバーを教える、その日の日直を担うメンバーがその日の仕事を

を組み立てる、そんな姿が現在の作業所にはあります。

2019年は消費税増税もありました。就労支援事業によっては軽減税率への対応が必要となったり、レジを新しいものに買い替えるなどの対応を行いました。それだけでなく、なかまの生活そのものへの影響も大きくなりました。

色々と大変なこと多いですが、本年も変わらずみんなで力を合わせ日々一歩一歩と進んで行ければと思います。皆様方におかれましては、本年も変わらぬご支援の程お願い申し上げます。

結いの会 カラオケレク

結いの会では、日頃忙しい仲間みんなが集まって親睦を深めようと、11月30日(土)カラオケをしました。メンバーの中には仕事があり、仕事を終わらせてから合流した人もおり、日ごろ参加できない人も参加しました。一人6曲歌ったり、音楽に合わせて踊ったりする人もみんなもつと歌いたいと時間が足らず、楽しい時間はあっという間でした。最後に仲間のため

に考え、今「喜楽ローザ店」の仲間で行っている「もっこり体操」をして終わりました。

喜楽ローザ店にうれしいお客様

喜楽ローザ店に、中区八幡で生活介護事業所を運営しているドリームエイムの仲間の方々が、職員さんたちと一緒に食べに来てくれました。当日は、とても良い天気。喜楽ローザ店は林道倫精神科神経科病院内にあるお店です。車椅子でもそのまま入ることができ、みんなで食事をとることが出来ます。

当日のメニューはちよつと大人向けの「鶏肉のワサビ味」。食べやすく切ってもらい召し上がっていただきました。喜楽ローザ店ではこれからも、色々な方のご利用を心よりお待ちしております。



メンバーは喜んでいました。本当に芸達者な職員さんたちのおかげで今年も楽しい忘年会となりました。

【ローザ・ワイショップ】

今年のローザとワイショップ合同での忘年会はカラオケが好きなメンバーも多いことから、今回はカラオケスナックを貸し切った忘年会となりました。

今回利用させていただいたお店のママさんとはとてもいい方で、みんなのためにと特製のおいしいカレーとデザートにシフォンケーキまで焼いてくれました。

ローザもワイショップも日頃店頭立ち接客をするお仕事。共通する部分も多く、忘年会は多いに盛り上がりました。



てくれ、日ごろは見られない1面にびっくりしました。みんなで楽しい時間をすごしました。



【にのつぼ (宅配弁当屋喜楽)】

にのつぼの忘年会は昨年引き続き、事業所の2階を使つての忘年会となりました。



日頃はお客様に提供しているオードブルを今日はみんなで囲みます。さらに今回は、とある職員さんが自家製のおいしい餃子を作ってきてくれて、水餃子にしてみんなでいただきました。市販の餃子とは違い、手作りならではのおいしさにおかわりをする人も続



出しました。

例年の忘年会では、みんなでピノゴをしたりとしますが、今年の忘年会は芸達者な職員さんが大活躍！アンプまで持ち込み、ウクレレと合わせてみんなで大合唱♪なつかしの歌を歌い、みんなの絆も深まったように思います。

また別の職員さんは事前準備も万端に講談を一席。歴史好きなメ

今年も一年間お疲れ様！ みんなで楽しい忘年会

【ワークハウス・わくわく！】

ワークハウス・わくわく！では、忘年会を初めて岡山空港のすぐ近くの「レスパール藤ヶ鳴」でしました。会場までは、晩秋の景色を楽しみながらのドライブとなりました。



「レスパール藤ヶ鳴」は、温泉付き。当日はバスで迎えに来てもらい、温泉に入る人、マッサージが入る人、いすがあるゆつくりくつろぐ人にながら、BGMはみんなのカラオケ。曲に合わせてダンスも披露し